

昭和52年度理論計量経済学会

理事会協議決定事項

日時 昭和52年10月22日(土) 18:30~20:30
場所 成蹊大学経済学部会館室
出席者 会長 馬場正雄
理事 麻田四郎 天野明弘 稲毛満春
今井賢一 上河泰男 上野裕也
大谷龍造 金森恒利 金子敬生
倉林淺正 小林好宏 斉藤光雄
塩野谷祐一 新開陽一 鈴木光男
津元正弘 新飯田宏 西川俊作
速水佑次郎 福地崇生 宮沢健一
村上泰亮 森口親司 森本好則
安場保吉
大会運営委員 篠原三代平 小野 旭

1. 概観誌関係(倉林理事)

- (1) 編集委員の交替: 浜田宏一氏渡英につき兼光秀郎氏が加わる(承認)
- (2) 刊行状況: 順調、論文の待ち時間6カ月に短縮
- (3) 提案事項: 1) 論文の原稿料を廃止する。2) レフエリ-料(東洋経済負担)を一律5千円とする。3) 書評料(3千円)は据置きとする。(承認)
- (4) 検討事項: ① 1号をすべて英文論文とする。② 書評、展覧論文で1号を埋める。(以上①、②)につき、supplementを出すかどうかは検討中) ③ 誌名とくに英文名の変更(1案: Japanese Journal of Economic Studies) 1)~3)ともさらに編集委員会にて検討の上、来年度理事会にて具体案をはかるものとする。

2. 渉外関係(塩野谷理事)

- (1) 学会会誌からの海外学会派遣については、今年度 Econometric

Society 北米大会に足立英之氏(西部)を推薦したが、今年度も当学会に副当なく選に洩れた。

- (2) 文部省科学研究費審査委員(第1段)に、藤野正三郎、貝塚啓明氏を推薦した。

3. 総務関係(上野理事)

- (1) 副会長選挙: 理事の投票により次の5氏が候補に選出された。稲田猷一、内田忠夫、亀塚信雄、小宮隆太郎、辻村江太郎(五十音順)
- (2) 理事選挙: 会員投票の結果ならびに内規に従って、別紙の通り決定した。常任理事については、総会承認後、任期前ではあるが、早急に互選の上、担当を決める必要がある。
- (3) 入会: 別紙72名の申込あり。いずれも適格ゆえ承認
- (4) 退会: 本人希望7名、死亡7名、長期会費未納2名、ならびに賛助会員1社
- (5) 来年度大会開催校: 同志社大学(日時未定)
(西部部会は名古屋大学において行なわれる予定)

4. 会計関係(西川理事)

- (1) 昭和51年度決算報告(承認)
- (2) 昭和53年度予算はA案(会費1千円値上げ)を承認。
- (3) 次の2点につき確認
 - 1) 報告要旨は来年度も大会会場で配布する。
 - 2) 会員名簿は(予算案どおり)、1年繰り上げで53年度に印刷する。

以上

なお、松永賞候補者に推薦していましたが根岸隆氏の受賞が10月31日付で決定しました。

52年度理事会議題一覽

I. 機関誌関係 (倉林理事)

[配布資料 1] 『季刊理論経済学』刊行状況

II. 渉外関係 (塩野倉理事)

1. 国際会議派遣者推せんの件
2. 文部省科学研究費審査委員推せんの件

III. 総務関係 (上野理事)

1. 53年度副会長候補者の選出
2. 新理事の選出

[配布資料 2] 新理事候補者

3. 新入会員審議 [配布資料 3] 新入会員名簿
4. 退会員の件 [" 4] 退会員名簿
5. [" 5] 賛助会員名簿
5. 53年度大会開催校について

IV. 経理関係 (西川理事)

1. 51年度決算報告 [配布資料 6] 51年度決算書
2. 53年度予算案審議 [" 7] 53年度予算案
- [" 8] 学会収支の推移と見込
- [" 9] 会費引上げについて
- [" 10] 会費納入状況

V. その他

『季刊理論経済学』刊行・投稿状況 (1973年～1977年10月)

季刊理論経済学編集部
1977年10月14日

以下の形式は 去年(1976年8月25日)→られたものと同じです。

I 刊行状況

	論文	著者	書評	計
第24巻第1号～第3号 (1973年)	15 (5)	10 (3)	8 (0)	33 (8)
第25巻第1号～第3号 (1974年)	13 (5)	7 (4)	12 (0)	32 (9)
第26巻第1号～第3号 (1975年)	11 (4)	9 (4)	9 (0)	29 (8)
第27巻第1号～第3号 (1976年)	15 (6)	7 (3)	10 (0)	32 (9)
計	54 (20)	33 (14)	39 (0)	126 (34)

(注) 1. ()内は英文論文。

2. 第24巻～第27巻収録論文中、投稿論文以外のものは
(書評を除く)、次のとおり。

会長講演 4, 展望論文 5, その他依頼論文 2.

第28巻第1号～第2号 (1977年)	10* (5)	10** (5)	9 (0)	29 (10)
------------------------	---------	----------	-------	---------

(注) * 会長講演 1, 以外は投稿論文。

** 論文に対するコメント 1, それに対するリポインダー 1 以外は投稿論文。
28巻1号より (80ページから) 96ページまで。

II 論文の投稿状況

	投稿論文数	採用論文数	不採用論文数	未決論文数
1973年	69 (29)	39 (16)	30 (13)	0
1974	62 (29)	33 (15)	26 (13)	3 (1)
1975	38 (20)	15 (6)	20 (12)	3 (2)
1976	43 (24)	20 (12)	13 (5)	10 (7)
1977 10月まで現在	32 (15)	0	8 (3)	24 (12)

- (注) 1. () 内は英文論文。
 2. 論文が覚書かは区別していない。
 3. 改訂版による投稿は計算に入れていない。
 4. 未決論文には、レビューのみ、改訂版依頼等のものが含まれる。

III 投稿論文が掲載されるに要する期間

投稿論文の採用が決定されてから実際に雑誌に載るまでの期間は 96ページ だてにしてから かなり短くなっている。

第27巻第3号に載った論文は 平均 15.5ヵ月～16.5ヵ月前にその採用が 決まっていた。が、第28巻第1号では平均 8.5ヵ月～9.5ヵ月、第28巻2号平均 5.5～6.5ヵ月 になった。

IV 投稿者の地域別分類

	総数 (人)	地域別 (人)							
		北海道 ・東北	関東	中部 ・北陸	関西	中国	四国 ・九州	在外国	外国人
1973年	72	8	33	6	15	1	0	1	8
1974	66	4	25	7	20	1	0	0	9
1975	39	2	15	2	12	0	1	2	5
1976	45	1	20	4	9	2	1	3	5
1977 10/14 まで	35	2	16	4	3	1	0	1	8

- (注) 1. 共同論文の場合は 別々に 数えた。
2. 投稿された時点での 所属地域で示した。

理論・計量経済学会新理事候補者

昭和53年4月1日～56年3月31日

〔 東 部 〕

投票用紙発送 643

投票数 93

10月8日 東部常任理事会において開票

一橋大	今井賢一*	藤野正三郎	時子山和彦
東京大	小宮隆太郎*	村上泰亮*	浜田宏一
慶応大	辻村江太郎	大熊一郎	
早稲田大	伊達邦春		
成蹊大	小野旭		
中央大	金子敬生*		
東京都大	奥口孝二		
学習院大	岡本哲治		
上智大	兼光秀郎		
筑波大	福地崇生*		
横浜国大	新飯田宏*		
千葉大	伊東光晴		
北海道大	小林好宏*		
小樽商大	麻田四郎*		
東北大	大槻幹郎*		
福島大	大谷竜造*		

〔 西 部 〕

投票用紙発送 557

投票数 113

10月11日 西部常任理事会において開票

大阪大	建元正弘*	稲田献一	久我清彦
京都大	森口親司*	安場保吉*	青木昌彦
神戸大	置塩信雄	斉藤光雄*	
名古屋大	稲毛満春*	水野正一	
名古屋市大	木村吉男*		
同志社大	伊藤史朗		
関西学院大	安井修二		
神戸商大	上河泰男*		
和歌山大	杉浦一平*		
広島大	田村泰夫*		
山口大	安部一成		
松山商大	太田明二		
九州大	武野秀樹*		

常任理事

東部 西部

総務
渉外
会計
機関誌

倉林義正

計21名

*は再選理事(11名)

計19名

*は再選理事(9名)

氏名	所 属	推 薦 者	氏名	所 属	推 薦 者
飯田 隆雄	岡山 大	森 茂也 昭毛 満春	林 三野雄	日本貿易振興会	神原 肝夫 渋谷 昭彦
石川 経夫	東京 大	楠 草 益 竹内 啓	平井 俊 顯	東京 大	植 草 益 根岸 隆
伊藤 正 毅	名古屋 大	木下 宗七 飯田 経夫	松下 正 弘	滋 賀 大	熊谷 尚夫 金森 恒利
船 実和夫	神戸 大	青 藤 光雄 櫻 垣 信雄	馬男木 三生	福 岡 大	梅田 政 勝 江崎 達彦
岩田 年浩	神戸 商大	末 永 隆甫 菊 本 義治	御 船 洋	一 橋 大	宮 沢 健一 江見 康一
植木 国幸	日本 大	千 種 義人 近江谷 幸一	武 藤 泰 彦	日経センター	貝 塚 啓 明 兵田 宏一
白井 功	横 浜 国大	太 田 誠 清川 雪彦	村田 稔 雄	横 浜 商大	松本 達 治 清水 忠直
内 橋 吉 朗	関西学院 大	生 田 種 雄 森 本 好 則	山田 勝 裕	関西学院 大	安 部 栄 造 生田 種 雄
大鹿 隆	経 済 企 画 庁	青 藤 光雄 馬 場 正 雄	吉田 建 夫	松山 商大	小 泉 進 堀山 昌一
大島 英雄	高千穂 商大	今 井 賢一 大 沢 悦 治	渡 辺 真知子	国際開発センター	福 岡 正 夫 川 又 邦 雄
奥野 正 寛	横 浜 国大	浜 田 宏一 佐 和 隆 光	金 井 道 夫	農 林 省	丸 山 毅 皓 佐々木 康三
甲斐 明	福 岡 大	梅 田 政 勝 江崎 達彦	清 水 啓 典	一 橋 大	宮 沢 健一 荒 恵 治郎
神谷 芳 雄	愛 知 大	木 村 憲 二 龜 井 信 弘	丸 田 宗 平	茨 城 大	大 川 一 司 丸 山 毅 皓
川島 章	千葉 短大	榎 本 弘 篠 塚 慎 吾	崎 浦 誠 治	北 海 道 大	丸 山 毅 皓 佐々木 康三
川村 浩平	早 稲 田 大	伊 達 邦 春 尾 崎 崇 夫			
河野 快 晴	立 命 館 大	後 藤 文 治 田 村 泰 夫			
木村 昌 人	三 井 銀 行	千 種 義人 福 岡 正 夫			
工藤 啓	東北福祉 大	大 塚 勝 夫 武 蔵 武 彦			
園友 直 人	東京 大	竹 内 啓 佐 和 隆 光			
黒田 龍	N B E R	速 水 佑次郎 太 田 誠			
慶野 征 毅	三 重 大	丸 山 毅 皓 速 水 佑次郎			
香崎 録 博	三菱電機	青 藤 光雄 豊 田 利 久			
斉藤 雄 志	電力中央研究所	矢 島 昭 齊 藤 觀之助			
坂本 一 登	中九州短大	梅 田 政 勝 江崎 達彦			
笹本 潤太郎	千葉 商大	榎 本 弘 中 山 靖 夫			
佐野 好 信	日本リサーチ 総合研究所	安 永 武 巳 山 口 貴久男			
下村 和 雄	神 戸 大	足 立 英 之 櫻 垣 信 雄			
末永 勝 昭	福 岡 大	梅 田 政 勝 江崎 達彦			
岐河 輝 和	大阪 大	建 元 正 弘 小 泉 進			
仙波 憲 一	青山学院 大	榎 本 弘 山 根 太 郎			
高倉 文 年	福 岡 大	梅 田 政 勝 江崎 達彦			
田村 坦 之	大阪 大	妙 見 孟 岩 橋 亮 輔			
多門院 和 夫	静 岡 大	丸 山 毅 皓 速 水 佑次郎			
チン 康 守	成 均 館 大	宮 本 勝 浩 山 下 和 久			
寺崎 康 博	一 橋 大	松 田 芳 郎 溝 口 敏 行			
中込 正 樹	東京 大	館 龍一郎 浜 田 安 一			
中村 孚 信	中 央 大	金 子 敬 生 藤 野 志 朗			
西 宇 正	大阪 市	柴 山 幸 治 大 谷 和			
橋本 博 之	山 大	野 田 孜 池 本 清			
林 亞 夫	東京工 大	阿 部 統 鈴木 光 男			

配布資料 4

昭和52年度退会者名簿

理論・計量経済学会

氏名	所属	退会事由
北村 正次	早稲田大	本人の希望による
辻 唯之	香川大	〃
橋本 喬	県立熊本高接	〃
日比野 勇夫	京都産業大	〃
正井 敬次	関西大	〃
田中 章介	経済歯方	〃
中川 友長	中央大	〃
大熊 信行	創価大	死去
小泉 明	一橋大	〃
末永 茂喜		〃
成実 清松	愛知学院大	〃
松尾 昌平	東京経済大	〃
渡部 経彦	大阪大	〃
ビタクサン オンセロカン	一橋大	〃
下地 玄栄	沖縄大	3年向会費未納
庭田 洋一		〃 (連絡先不明)
賛助会員 東京エーエス株式会社	(昭和53年度刊)	(以上16名・1社)

会社名	担当係	所在地	会社名	担当係	所在地	会社名	担当係	所在地
東洋紡績株式 会社経済研究所	所長	大阪市北区堂島中/堂島利ビル	大和銀行	調査部長	大阪市東区備後町2	住友化学工業 株式会社	総務課長	大阪市東区北浜5-15
株式会社神崎組		0E路市北条口86-3	関西電力株式会社	企画調査課	大阪市北区中之島3-5	住友銀行	総務部	大阪市東区北浜5
株式会社電通	マーケティング局	東京都中央区築地 1-11	東海銀行	調査部	名古屋市北区錦3-21-24	日本医師会	統計課長	東京都千代田区神田駿河台 2-5
富士銀行	調査課	東京都千代田区大手町1-6	日本興業銀行	調査部 資料センター	東京都中央区八重洲5-1-1	電気通信総合 研究所	電気通信総合 研究室長	東京都港区麻布飯倉町 6-13
左貨銀行	調査課長	佐賀市唐人町2-7-20	日本興業銀行 設備投資研究所	副所長	東京都千代田区大手町1-5日経ビル	(株)三菱総合研究所	研究開発部	東京都千代田区有楽町1-1 日比谷パークビル8階
官崎銀行		官崎市橋通 1-7-4	東京海上火災保険 株式会社	総務部文書課	東京都千代田区丸の内3-12国際ビル			
協和銀行	調査部長	東京都千代田区丸の内1-4	川崎製鉄 株式会社	調査部 調査課長	東京都千代田区有楽町1-1(新有楽)			
45年度下期引当金 東京生命銀行	業務部 調査課長	東京都下京区烏丸通 松原五丁目駅前700	三井信託銀行	調査部	東京都中央区日本橋室町2-1-1			
住友信託銀行	調査部長	大阪市東区北浜5-15	新日本製鉄 株式会社	調査部	東京都千代田区大手町2-6-3			
三菱銀行	調査部	東京都千代田区丸の内2-5	46.9.30退会 金数213万 株式会社	庶務課	大阪市北区梅田8番街阪急ビル			
日本長期信用銀行	調査部長	東京都千代田区大手町1-1	太陽神戶銀行	調査部長	神戸市生田区浪花町56			
(53年3月退会) 東京-12株式会社	総務部総務課	東京都中央区八重洲1-3-3	50.9.30退会 東京製鋼株式会社	秘書課長	神戸市東区新在家南町1-2-1			
経済団体連合会	調査部長	東京都千代田区大手町1-5-7	同和火災海上保険 株式会社	本庶務部 文書課	大阪市北区神明町61			
日本生命保険 相互会社	調査課長	大阪市東区今橋4-7	株式会社大丸	総合企画室	大阪市南区西清水町16			

(52年10月18日現在29社33口)

配布資料 6

理論・計量経済学会51年度決算書

(51年4月1日 至52年3月31日)

収入の部

項目	金額	備考
繰越金	2,389,032 ^円	50年度より繰越
会費	6,402,582	48,49年度分 82名 226,000円 50年度分 136名 539,000円 51年度分 941名 4,707,082円 #(学生会員) 83名 207,500円 52年度分 12名 63,000円(小計 5,742,582円)
補助金	600,000	賛助会費 33口 660,000円 文部省研究成果刊行費補助金
雑収入	19,286	預金利子
合計	9,410,900	

支出の部

項目	金額	備考
機関誌刊行費	2,511,040 ^円	季刊理論経済学(27巻1号, 2号, 3号) 印刷費@500円×1,400部×3回=2,100,000円 原稿料(32件) 111,000円 編集料 67,500円 送料(3回) 171,040円 封筒・ラベル 61,500円
学会開催費	2,117,050	51年度大会開催費 1,159,660円 名簿印刷代 410,800円 議事録印刷代 26,690円 名簿・議事録送料 381,900円 西部部会大会開催費 138,000円
理事会費	277,725	会議費84,550円 旅費・通信費・印刷費62,094円 副会長選挙費用131,081円
学術会議関係会費	15,000	経済学会連合分担金
事務費	1,847,500	事務所費・人件費・印刷費・通信費・消耗品費ほか
小計	6,768,315	
繰越金	2,642,585	52年度へ繰越
合計	9,410,900	

理論・計量経済学会 53年度予算書 (A案)

(自53年4月1日 至54年3月31日)

収入の部

項目	金額	備考
繰越金	2,081,000	52年度より繰越
会費	7,540,000	会費 1,250名×6,000円×88% = 6,600,000円 学生会員 100名×3,000円 = 300,000円 賛助会費 32口×20,000円 = 640,000円
補助金	860,000	文部省研究成果刊行費補助金(見込)
雑収入	10,000	預金利子ほか
合計	10,491,000	

支出の部

項目	金額	備考
機関誌刊行費	3,519,000	季刊理論経済学(29巻1号, 2号, 3号) 印刷費 680円×1,450部×3回 = 2,958,000円 原稿料・編集料・送料・封筒代 561,000円
学会開催費	2,405,000	53年度大会開催費 1,300,000円 名簿印刷代 535,000円 議事録印刷代 30,000円 名簿・議事録送料 420,000円 東部部会大会・西部部会大会 120,000円
理事会費	400,000	会議費 120,000円 旅費・通信費・印刷費 130,000円 副会長選挙費用 150,000円
学術会議関係会費	80,000	経済学会連合分担金 統計学研究連絡委員会選挙費用分担金
事務費	2,493,000	事務所費 300,000円 人件費 2,073,000円 消耗品費・通信費・その他 120,000円
小計	8,897,000	
予備費	100,000	
繰越金	1,494,000	54年度へ繰越
合計	10,491,000	

理論・計量経済学会 53年度予算書 (B案)

(自53年4月1日 至54年3月31日)

収入の部

項目	金額	備考
繰越金	2,081,000	52年度より繰越
会費	6,440,000	会費 1,250人×5,000円×88% = 5,500,000円 学生会員 100人×2,500円 = 250,000円 賛助会費 32口×20,000円 = 640,000円
補助金	860,000	文部省研究成果刊行費補助金(見込)
雑収入	10,000	預金利子ほか
合計	9,391,000	

支出の部

項目	金額	備考
機関誌刊行費	3,519,000	季刊理論経済学(29巻1号, 2号, 3号) 印刷費 680円×1,450部×3回 = 2,958,000円 原稿料・編集料・送料・封筒代 561,000円
学会開催費	2,405,000	53年度大会開催費 1,300,000円 名簿印刷代 535,000円 議事録印刷代 30,000円 名簿・議事録送料 420,000円 東部部会大会・西部部会大会 120,000円
理事会費	400,000	会議費 120,000円 旅費・通信費・印刷費 130,000円 副会長選挙費用 150,000円
学術会議関係会費	80,000	経済学会連合分担金 統計学研究連絡委員会選挙費用分担金
事務費	2,493,000	事務所費 300,000円 人件費 2,073,000円 消耗品費・通信費・その他 120,000円
小計	8,897,000	
予備費	100,000	
繰越金	394,000	54年度へ繰越
合計	9,391,000	

学会収支の推移と見込

No. _____

年 度	昭和48年度		49年度		50年度		51年度		52年度(現)		53年度(案)	
会 員 数	1,078人		1,129人		1,196人		1,269人		1,300人		1,350人	
会 費	2,000円		3,000円		4,000円		5,000円		5,000円		5,000円 (15%増加)	
収入の部	4月	11割月	4月	11割月	4月	11割月	4月	11割月	4月	11割月	4月	11割月
会 費	2,157		3,120		4,270		5,742		5,750		5,800	(6,900)
賛助会費	680		680		670		660		640		640	640
補助金	310		340		440		600		860		860	860
雑収入	66		21		29		20		10		10	10
合 計	3,213	2,923	4,161	3,685	5,409	4,523	7,022	5,533	7,260	5,585	7,310	5,415 (8,410)(6,230)
支出の部	1250部×3回		1300部×3回		1350部×3回		1400部×3回		1400部×3回		1450部×3回	
刊行費	1,392	1,291	1,898	1,681	1,995	1,668	2,511	1,979	3,276	2,520	3,519	2,607
印刷費	1,050		1,560		1,620		2,100		2,730		2,958	
原紙料・編纂料	191		183		163		179		210		210	
送 料	113		117		125		171		252		261	
封筒代	38		38		87		61		84		90	
学会開催費	1,248	1,158	1,132	1,023	1,070	895	2,117	1,668	1,632	1,255	2,405	1,781
大会開催費	813		910		899		1,160		1,180		1,300	
案内・招待	46		52		63		109		121		133	
印刷代	409		447		414		457		518		570	
会費送料	127		93		102		253		133		147	
その他諸雑費	231		318		320		341		408		450	
名簿印刷代	281		54		36		411		118		535	
議事録	12		18		25		26		26		30	
名簿・議事録送料	77		69		26		382		208		420	
部会大会	65		81		84		138		100		120	
一般運営費	189	176	270	239	254	212	293	231	625	491	480	356
学術会議関係	15		25		62		15		15		80	
理事会	67		121		108		147		259		250	
選挙費用	51		124		84		131		351		150	
宣伝費	56		0		0							
事務費	885		1,102	926	1,534	1,281	1,847	1,455	2,189	1,694	2,493	1,846
合 計	3,714		4,402	3,899	4,853	4,058	6,768	5,333	7,722	5,940	8,897	6,590
差 引	△ 501		△ 241		556		254		△ 462		△ 1,587 (△ 487)	
前年度からの繰越金	2,575		2,074		1,833		2,389		2,643		2,081	
次年度への繰越金	2,074		1,833		2,389		2,643		2,081	予備金100	予備金100	394 (1,494)

会費引上げに関する資料

(52/9/1 作成)

- 1 別紙は昭和48～51年度における当学会の収支推移ならびに52年度(当年度)見込、53年度案を一表にまとめたものである。
- 2 収入の大半は会費収入に依存しているが、
 - (1) 会員数は48年度以降、年率5～6%の伸びである。
 - (2) 会費は49、50、51年度以降、毎年1,000円宛の引上げで現在5,000円(年間)となっている。
 - (3) なお、学会費徴収を50年度より秋季大会の際から年度当初の振込支払に変更した。
 - (4) また同年度より大学院在学中の会員に対しては、会費の半額減免を認めている。
- 3 支出は機関誌刊行費、学会開催費、ならびに事務費に三分されている。過去6年間の推移についていえば、
 - (1) 機関誌刊行費の場合は用紙、印刷費の値上りによって、また事務費は賃金の上昇によって増加した。
 - (2) 学会開催費に凹凸が見られるのは、名簿(3年毎印刷)報告要旨(52年以降会場渡し)等の節約で、その膨脹を食い止めてきたためである。
 - (3) なお、機関誌については、52年度より96ページ建(16ページ増)で刊行がなされている。
 - (4) 最後に一般運営費の動きは、会長(毎年)ならびに理事選挙(3年毎)によるものであり、郵送のため郵便料値上げによって大きく影響を受ける。
- 4 52年度(見込)において次年度繰越金が200万円余となり、予算(9万円)を大きく上廻っているのは、
 - (1) 会員の協力ならびに事務局の努力により51、52年度

とくに51年度の会費納入が順調であったこと、

- (2) 学会開催費、一般運営費において支出削減があったことによる。
 - (3) 会計担当者としては、予算編成に当って過度の conservatism に落込んだ点を反省している。
- 5 以上から、53年度予算について考えた場合
- (1) 現行会費(5,000円)のままでは次年度繰越は40万円弱となり、54年度機関誌第1号の刊行費用を支払えないという見通しである。
 - (2) 会費を6,000円に引上げれば、カッコ書きの通り、上記刊行費用をまかなうに足る繰越金となる。
 - (3) もちろん、本年度の収入見通し(会費ならびに補助金)は控え目であり、他方、支出では名簿印刷を隔年にするという形になっているので、53年度決算では現行会費でもある程度(たとえば50万円程度)の金額は繰越金に上乗せできることになるであろうが、しかし上記刊行費用にはやや不足である。
 - (4) 機関誌については、引続き96ページ建を維持するものとして予算が組まれているが、出版社との約束により買上費値上げが決まっていることを書き添えておきたい。
 - (5) 以上要するに、現行会費のままでも残高なしの自転車操業は不可能ではないが、もし1,000円の引上げを行い年額6,000円とすれば、過去の物価高騰の影響を漸く乗切ったこととなり、爾後の収支は比較的円滑になるのではないかと考えられる。

常任理事(会計担当)

会費納入状況

年次	会員数	納入者	未納者	納入率		備考
				当該年々末	現在	
46	936	900	36	690 74%	49.10月 96%	@ 2,000 -
47	1023	977	46	795 78%	50.7月 96%	@ 2,000 -
48	1078	1041	37	865 80%	51.12月 97%	@ 3,000 -
49	1129	1075	54	780 69%	52.10月 95%	@ 3,000 -
50	1196	1153	43	1001 84%	52.10月 96%	@ 4,000 -
51	1269	1152	117	1100 87%	52.10月 91%	@ 5,000 -
52	(52.10.17現在) 1296	443	853	67.6%	53.10 52.10月 34%	@ 5,000

52年度理事会議題一覽

I 機関誌関係 (倉林理事)

(配布資料1) 『季刊理論経済学』刊行状況

II 渉外関係 (塩野谷理事)

1. 国際会議派遣者推せんのこと
2. 文部省科学研究費審査委員推せんのこと

III 総務関係 (上野理事)

1. 53年次副会長候補者の選出

2. 新理事の選出

(配布資料2) 新理事候補者

3. 新入会員審議 (配布資料3) 新入会員名簿

4. 退会員の件 [" 4] 退会員名簿

[" 5] 賛助会員名簿

5. 53年度大会開催校について

IV 経理関係 (西川理事)

1. 51年度決算報告 (配布資料6) 51年度決算書

2. 53年度予算案審議 [" 7] 53年度予算案

[" 8] 学会収支の推移と見込

[" 9] 会費引上げについて

[" 10] 会費納入状況

V その他

塩野谷理事殿 (渉外担当)

理事会報告 協議事項

1. 学術会議からの国際会議代表派遣について
計量経済学会北米大会に足立英之氏を推せんした
2. 文部省科学研究費審査委員推せんのこと
53年度第1段審査委員に藤野正三郎、貝塚啓明氏
を推せんした

上野理事殿 (総務担当)

理事会報告・協議事項 出文回答、昨午の議事録を添付
しております

1. 53年度副会長候補者の選出
(開票結果を添付しております)
2. 新理事の選出 [配布資料 2] 新理事候補者
3. 新入会員審議 [3] 新入会員名簿 (申込書^②を
お添付いたします)
4. 退会会員の件 [4] 退会会員名簿
5. 賛助会員名簿
5. 53年度大会開催校について
(過去の開催校一覧を同封しております)

總會報告事項

1. 53年度副会長候補者の報告 (氏名掲示)
2. 新理事選出の報告 ()
3. 新入会員報告 [配布資料] 新入会員名簿
4. 退会会員報告
5. 53年度大会開催校について

西川理事殿 (会計担当)

理事会報告事項・協議事項

1. 51年分、決算報告 [配布資料 6] 51年分、決算書
2. 52年度予算案審議 [" 7] 53年度予算案
[" 8] 学会収支の推移と見込
[" 9] 会費引上について
[" 10] 会費納入状況

總會報告事項

1. 51年度決算報告 [配布資料] 51年分、決算書
2. 53年度予算案審議 ["] 53年分、予算案
(理事会の決定により、A案 B案)
(いすいかも配布する)